

おみこしわっしょい!



さくらみ川

第五七号 平成十八年四月一日
 熱日高彦神社社務所
 電話 〇二四 六一〇四一
<http://hitaka.org> auhhitaka@hitaka.org

ふるさとの文化を次の世代へ

春季例大祭日程

平成十八年四月六日(木)

祭典 午前八時

神輿渡御 午前九時半 お降り

十時五十分 三島神社

十二時 郷主内

十三時 島田公民館出発

十四時 神社到着

十四時三十分 日高香取神輿お降り

十五時三十分 鐘撞堂 胸上げ

十六時 御神輿お引込み

一気に入段を担ぎ上がります

祭は地域力のバロメータ

神輿担ぎ手募集!

総代 神輿世話人が力を合わせ御神輿の担ぎ手を募集しております。中学生から参加いただけます。経験者のもとより、島田の未来を担う人たちにぜひ積極的に参加いただきたいと願っています。

連絡先 各区総代 神輿世話人 社務所

花火奉納者募集

一発三〇〇〇円で承ります。総代まで。

事業だより

陽光射し そよ風吹く境内

境内林整備ほぼ終える

昨年末から続いていた境内林の整備は三月末までにほぼ終了しました。先ず昨年中に御神木の枝打ちと危険木の伐採を行いました。特に社殿西側の古木は神域に欠かせないものでしたが幹の数箇所には大きな洞があり大風で折れることが心配され、やむなく伐採しました。続いて二月後半からは境内林の択伐・間伐を行いました。計画どおり、境内がたいへん明るくなり通風も十分に確保できるようになりました。伐採した木材は社殿の修繕に用います。



忠魂碑周辺はボランティアで

一方、忠魂碑周辺の整備は、有志のご協力をいただき進めております。忠魂碑は、英霊がふるさとを見守ることができるよう建てられたはず。

しかし、木々が育ち展望が利かない状態になっていました。そこで、以前の環境を取り戻そうと、昨年は病木の桜を伐り、今年は西側の杉林を伐採しました。林の間に角田の町が見えます。さらに整備を進め、遊歩道を作るなど自然公園化を進めます。

文化財を図面に保存

県内設計士がボランティアで測量



祈年祭の翌日の二月十八日、日本設計士協会宮城県支部保存部会の六名が当社を訪れ、社殿図面作成のための測量を行いました。

社殿は、本殿が元禄年間、拝殿が文久年間のもものといわれ、当地の建築物としては最も古い文化財です。しかし図面などの資料は焼失して有りません。今回の修繕に先立ち、ぜひ現状を図面化し後世に残したいと考え、依頼することになりました。

部会の活動はボランティア。たいへんありがたいことです。高い技術で素晴らしい図面が出来上がることを心待ちにしています。

修繕事業完成予想図を奉納

笹木文夫氏(枝野賀川)

「修繕事業を皆さんにイメージしてもらえよう」と、枝野在住の笹木文夫さんが、完成予想図を作成、ご奉納くださいました。

参道脇立木を伐採

齋藤茂夫氏、佐藤雅邦氏らにご快諾を頂き参道にかかる立木を伐採しました。齋藤宅は総代で、佐藤宅は東北電力に依頼して行いました。

一年をかけ事業内容確定

昨年の各区総会にてご承認いただいた後、氏子崇敬者等の貴重な意見を取り入れ、事業計画を精査し協議を重ね、内容を確定するに至りました。その中で、当初の計画を変更する箇所が出てまいりましたのでご報告いたします。

本殿の移設 湿気・地震対策を兼ね、本殿を後方に二メートルほど移動し、且つ基礎を約四五センチ上げる。

幣殿改築を新築に 傷みの程度を考慮し、また祭儀の更なる充実のため、拡張新築する。

境内西側に駐車場 境内の神聖な環境を保持しながら、参拝に便利な場所を選定。

お祭りのご案内

五月二日は八十八夜

子眉嶺神社例祭

八十八夜は子眉嶺神社の例祭日です。生命の神様に、人や家畜の産育、作物の豊穰、産業の振興を祈願します。毎年になぎやかに来ましたが、どなたでも気軽に参列いただけます。満開の山桜の下で初夏の息吹を愛でてみませんか。



社頭あれこれ

初めて？雨のどんど祭

「まいったなあ」関係者一同ため息。雨のどんど祭となりました。何とか斎火の準備をし、灯籠にはビニールを被せました。それでも祭典時刻になると参拝の人が登り始め、終了までほぼ例年並みの人が続きました。足元の悪い中ご参拝頂いた氏子崇敬者、真冬の雨に濡れながら対応いただいた神社総代、消防・防犯関係者、有志の皆さん等に感謝申し上げます。

そのほか、歳旦祭からお日祭まで、滞りなく奉務させて頂きました。皆様のご協力とご芳志に心より感謝申し上げます。



子供の健やかな成長を願って

ひな祭・ひな送り祭齋行

春の陽射しがあたたかい三月五日、ひな祭・ひな送り祭が行われ、近隣の子供たちが集い、楽しいお祭りとなりました。



以前から、子供の成長を願うお祭を行いたい、また、人形焼納の希

望にお答えしたいとも思案しておりました。そして、子供から大人まで楽しめるお祭りにできればと思っておりました。そこで今回、角田にお住まいで全国的にも有名な折り紙指導者でいらつしやる菊池きい先生をお招きしました。

先生のご指導でおひな様を折り、神前にお供えしてお祭をした後、橋のたもとから川へ「流し雛」をしました。お昼をはさんで、先生に絵本を読んでいただいたり、ご馳走を食べたりと、楽しく過ごしました。

お日高さんの自然
貴重な着生ラン

「マツラン(ベニカヤラン)」

今、熱日高彦神社では社林の杉の伐採が行われている。伐採された老木の枝のいくつかに着生植物(注)が見られる。一つは一般的なシダ類のノキシノブであり、もう一つは着生ランの「マツラン(ベニカヤラン)」である。

このランは四〜五月ごろ開花し、黄緑色の地に暗紫色の斑点がある葉が特徴である。宮城県以南の太平洋側〜九州に分布し、和名のマツランは海岸などでは松の木に付くことも多いため、ベニカヤランはカヤランに似ているが全体に暗紫色の斑点があるためである。



同じ仲間の「カヤラン」が、何年か前まで社殿の近くのモミの木に、手の届く高さのところに着生していたが、今はまったく無くなってしまったようである。このように当神社の社林には貴重な二種類の着生ランなどが自生しているのので、いつまでもこれらの植物が生育できる環境を守ってほしいと願いたい。

角田市内でマツランとカヤランが見られるのはここ以外では斗蔵山だけである。なお、かつて市内で着生ランとして「ムギラン」も観察されたが絶滅してしまったといつことである。

蛇足だが、俗に「虎の尾」と言われるのは「ビロウドシダ」である。また、ノキシノブの仲間のヒメノキシノブが相馬市内で見られる。

(注)ちやくせいしょくぶつ

木の幹や露出した岩の上などに、気根などでくっついて生活している植物。高温多湿の環境に生えるラン科植物、シダ、コケに多い

文ノ小島和夫氏

「奉納」ご奉仕

米、野菜、果実など奉納

各区 神社総代各位(歳旦祭・祈年祭神饌)

一区 齋藤公一、赤坂誠、赤坂武雄、黒須嘉次男

二区 富田正、齋藤仁、戸村賢治、只野政義

三区 三品久志、鹿又弥一郎、佐藤善一

横倉 柄目克子

境内整備など奉仕

各区 神社総代各位(事業に伴う境内整備)

一区 山家隆(忠魂碑整備)

二区 齋藤仁(忠魂碑整備)、富田正(配線)

三区 佐藤善通(神輿木札製作)

佐藤善一、佐藤勝征(忠魂碑整備)

(順不同、敬称は略させていただきます)

社頭 暦

四月 一日 卯月月次祭

六日 春季例大祭・神輿渡御神事

二九日 昭和の日

五月 一日 皇月月次祭

二日 子眉嶺神社例祭 八十八夜

三日 憲法記念日

五日 端午の節句 こどもの日 立夏

六月 一日 水無月月次祭

三〇日 水無月大被式

編集後記

小島先生は以前「神社の森は古く特殊な環境で貴重種が多い。乱獲の恐れがあるものは書かない」と言っておられた。ところが今回はあえて「ベニカヤラン」。いつまでもこれらの植物が生育できる環境を守ってほしい。先生からの強いメッセージと心得て、整備事業にあたりたい。神前や社報等に事業の標示をしてから、「これに心えて下さる参拝の方の篤志寄付が寄せられている。氏子の方々から過分の奉納の申し込みもあり、予定通り安心して進められそうです。」